

平成 30 年度 若者等活動拠点施設(仮称)整備に向けた主な取組み経過

平成 31 年 4 月
高山市企画部企画課

1. 事業概要

古い町並の下町エリアの伝統的建築物(旧村田邸)を活用し、美しい町並み景観の保全を図るとともに、若者の想いや願いを実現できるような拠点施設の整備を進めるもの。

平成 29 年度に公募市民らによる検討会を開始するとともに、平成 30 年度の詳細設計、平成 31 年度の改修工事を経て、平成 32 年度初頭のオープンを目指す。



2. 平成 30 年度の主な取組み経過

平成 29 年度から引き続き、公募市民らによる検討会や地元住民との意見交換会を開催し、議論を重ねてきた。

市内外の高等学校との連携事業、大学や有識者による現地の詳細調査などを行うとともに、平成 31 年度の整備工事に向けた設計業者による基本設計、詳細設計を進めた。

これらの過程を踏まえ、建物の歴史的価値の保全に重点を置いた整備内容を取りまとめ、市議会総務環境委員会への報告、パブリックコメントなどを経て、整備方針を決定するに至った。

【市内の小中学校、高等学校との意見交換会等】

4/19(木)、20(金)、23(月) 市内の各高校、特別支援学校

5/28(月) 斐太高校 S G H 社会人講話

6/10(日)、9/13(木) H I D A K K O P R O J E C T メンバー現地見学

6/19(火) 小中学校長研修会

2/25(火) 高山工業高校

【市外の高等学校、大学等による現地見学】

8/5(日)～7(火) 東京都市大学による旧村田邸デジタルアーカイブ(3Dスキャン)

8/6(月)～9(木) 旭丘高校(愛知県) G S F 7(火)ワークショップ、9(木)現地見学

【景観町並保存連合会 保存会長会】

9/11(火) 若者等活動拠点施設(仮称)の整備方針について

【市議会総務環境委員会】

9/19(木) 若者等活動拠点施設(仮称)の整備方針について

【パブリックコメント】

10/1(月)～31(水) 若者等活動拠点施設(仮称)の整備方針について 意見提出数 2 名 6 件

【伝統的建造物群保存地区保存審議会】

2/22(金) 若者等活動拠点施設(仮称)整備工事について

【公募市民等による検討会】 参加人数はスタッフ等を除く（以下同様）

回	日時	場所	主な内容	参加者
1	5/14(月) 19:00～20:30	市役所 201・202 会議室	文化財課による文化財・伝統建築物等の勉強会 平成 30 年度スケジュール	31 名
2	6/4(月) 19:00～21:00	市役所 地下大会議室	昨年度に継続協議とした事項 ワークショップ、質疑応答	18 名
3	6/10(日) 10:00～12:00	旧村田邸	横浜国立大学学生による全国の事例紹介 ワークショップ 意見発表、野原准教授講評	29 名
—	6/24(日) 10:00～11:30	旧村田邸	敷地内の物品記録ワークショップ（有志企画） 室内清掃	8 名
4	8/20(月) 19:00～20:30	市役所 行政委員会室	経過等の報告 整備の方向性、意見交換	18 名
5	12/12(水) 19:00～20:20	市役所 地下大会議室	経過等の報告 整備の方向性、意見交換	14 名

【地元住民等との意見交換会】

日時	場所	参加者	参加者
6/19(火) 19:00～21:00	まちひとプラ座 かにかこかん	下二之町町内会 1 班（鳩峯車組） 課題等の協議	20 名
7/31(火) 19:00～20:00	まちひとプラ座 かにかこかん	下二之町町内会 1 班（鳩峯車組） 整備の方向性	9 名
8/31(火) 17:00～21:00	旧村田邸	下二之町町内会 1 班（鳩峯車組） 耐震対策の実施箇所等の現地確認	8 名
10/4(木) 16:00～18:00	旧村田邸	下二之町町内会 1 班（鳩峯車組） 庭木、下草の方針協議等の現地確認	5 名
12/3(月) 19:00～20:15	まちひとプラ座 かにかこかん	下二之町町内会 1 班（鳩峯車組） 基本設計(案)	12 名
3/13(水) 19:00～20:00	まちひとプラ座 かにかこかん	下二之町町内会 1 班（鳩峯車組） 基本設計、その他	9 名

※その他にも随時、電話や面談による協議等を実施

【下町デザイン講座（関連事業として飛騨高山大学連携センターが実施）】

下町「まちのカルテ」づくり 全 5 回 最終 2/16(土)高山信用金庫本店にて発表会を開催

【旧村田邸文化財調査（飛騨高山大学連携センターから委託）】

12 月最終報告 職藝学院（富山県） 上野教授

※検討会の議事録など、本事業について詳しくは、高山市のホームページで紹介しています。
行政情報トップページ>市政情報>大学連携・若者支援>若者等活動拠点施設
<http://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1008717/1009353/index.html>



第1回検討会



第2回検討会



第3回検討会



第4回検討会



学生製作
1/50模型



斐太高校SGH



旭丘高校
GSF



関連事業（下町デザイン講座）



市が今年度一億七千六百万円で取得した下二町の旧村田邸（左写真）を「若者等活動拠点施設」として生まれ変わらせるための改修整備が新年度からスタートする。事業費は約二億円で、国交省から五割の補助が受けられる。

旧村田邸は福御業「村半」の店舗兼住宅で明治八年ごろの築。六百八十平方メートルの敷地に木造二階建ての主屋（延床32.2平方メートル）と蔵倉庫（11.9平方メートル）が並ぶ大規模な町家で、文化的価値が高いとされている。

**旧村田邸を「若者等活動拠点」に改修
学習やイベントなど多目的に活用**

が、長年空き家となっていたことが課題だった。そこで市は、建物を保存・活用するとともに、若者が気軽に集える場所とすることでにぎわいを創出しようと、平成二十九年度に高校生を含む公募した市民で検討会を立ち上げ、活用方法などの協議を重ねてきた。

検討会などの提案を基に、主屋は保存・復元し、伝統的建築物を体感でき



デジタルアーカイブ（3Dスキャン）



3/20市民時報



旧村田邸住宅「村半」調査報告書